

様式 A-1
(FY2018)

平成 30年 5月 16日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 山口 正希 ・岩瀬 峰宏
2. 講師氏名: (Dr.)Jakub P. KRYŠ
3. 講義補助者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 30年 5月 11日 (金) 13:20 ~ 15:10
5. 参加生徒: 3年生 158 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 158 人)
備考: (例:理数科の生徒) 文系の生徒
6. 講義題目: Post-economism : What is the next aim of societal development?
7. 講義概要: 体育館にて生徒はいすに着席。プロジェクターを使用して、すべて英語による講義。
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 60分 質疑応答時間 10分
 - 2) 講義方法 (例:プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義
 - 3) 事前学習
有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材
9. その他特筆すべき事項:
特になし

様式 A-4
(FY2018)

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(国際理解講座の一環として、大学等における専門分野の講義を英語で体験するため)
2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
 - 1) 2回以上面談 1回面談 メール 電話
 その他()
 - 2) 直接講師と 講義補助者を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()打ち合わせ内容を教えてください。
(講義テーマ、当日の移動方法到着予定時間、準備するもの、連絡先)
3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？
 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。
4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講義してほしかった。
5. 事前学習は行いましたか？
 行った(具体的な内容:)
 行わなかった
6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？
英語に慣れる。
生の英語を聴いて、理解しようとする機会。
英語ができて専門的な知識に対する教養が無いと理解できないということがわかったと思う。
7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？
 良かった 普通 良くなかった
良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。
専門性があって、やや難しかったように思う。
内容と英語が難しい
スライドがもっと見やすいものであると、理解の助けになったかも。
8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
準備等ほとんど無くても、生徒の状況にあった、わかりやすい、知的興奮のあるプレゼンテーションを生徒は期待していたと思います。事前学習なしでも可能な講義を期待します。
9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない
*ご協力ありがとうございました。